

市議会だより

GOJO

No.66

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会
平成30年（2018年）2月1日



（「早春」 東野 隆弘氏 撮影）

五條市議会第1回臨時会及び 第4回12月定例会の概要

平成29年第1回臨時会は、10月23日に開会し、会期を10月25日までの3日間と決定し、提出議案の説明を受け、議案の審議及び議決を行い、25日に閉会しました。

平成29年第4回12月定例会は、市民の皆様から負託を受けた初議会となったものです。12月4日に開会、会期を12月25日までの22日間と決定し、まず正・副議長の選挙や常任委員会及び議会運営委員会の選任並びに「地域活性化特別委員会」「新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会」などの設置を行い、7日には市長から市政報告と提出議案の説明を受けました。

本定例会には、五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校寄宿舎設置条例の制定を始め、市道路線の認定及び変更、平成29年度五條市一般会計補正予算及び特別会計補正予算、五條市監査委員の選任などの重要案件が市長から提出されました。議会からは、精神障害者の交通運賃割引を求める意見書並びに、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の規定による補助率等の嵩上げ措置の継続等に関する意見書や、五條市水道事業給水条例の一部改正に対する附帯決議を提案し、それぞれ慎重な審議を行うとともに、9名の議員が一般質問を行い、12月22日に議事日程を終了し閉会しました。

目次

議員紹介	2ページ
一般質問	3～11ページ
総務文教常任委員会の報告	12ページ
厚生建設常任委員会の報告	13ページ
表決結果と議決結果ほか	14・15ページ
意見書・編集後記	16ページ

議員紹介

任期満了による五條市議会議員選挙が行われ、次の12名が当選しました。12月定例会では投票の結果、議長に平岡清司議員、副議長に窪 佳秀議員が選ばれ、監査委員には、岩本 孝議員が選任されました。

また、各所属委員会の役員構成も行われました。



議長
平岡清司
54歳

- ・厚生建設常任委員会委員
- ・地域活性化特別委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員
- ・やまと広域環境衛生事務組合議会議員

議長就任のごあいさつ

昨年11月の一般選挙におきまして私ども12名の議員が、新しく市民の皆様から負託を受けました。

また、私は、その後の12月定例会において、議員各位のご推挙により、議長の重責を担うことになりました。

もとより微力ではございますが、決意を新たに、円滑な議会運営と本市の更なる発展のため、全力を尽す所存でございます。



副議長
窪 佳秀
65歳

- ・総務文教常任委員会委員
- ・地域活性化特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員



監査委員
岩本 孝
67歳

- ・議会改革特別委員会委員長
- ・議会広報編集委員会副委員長
- ・総務文教常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員



伊谷賢司
49歳

- ・議会広報編集委員会委員長
- ・議会改革特別委員会副委員長
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会副委員長
- ・厚生建設常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員



養田全康
39歳

- ・総務文教常任委員会委員長
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会改革特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員



牧野雅一
54歳

- ・地域活性化特別委員会副委員長
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会副委員長
- ・総務文教常任委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員
- ・やまと広域環境衛生事務組合議会議員



吉田 正
60歳

- ・厚生建設常任委員会委員長
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員長
- ・議会運営委員会副委員長
- ・議会改革特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員



福塚 実
53歳

- ・総務文教常任委員会副委員長
- ・地域活性化特別委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員



山口耕司
62歳

- ・議会運営委員会委員長
- ・総務文教常任委員会委員
- ・議会改革特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員
- ・南和広域医療企業団議会議員



吉田雅範
65歳

- ・厚生建設常任委員会副委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・議会改革特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員



藤富美恵子
68歳

- ・地域活性化特別委員会委員長
- ・厚生建設常任委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員



大谷龍雄
71歳

- ・厚生建設常任委員会委員
- ・地域活性化特別委員会委員
- ・新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会委員
- ・やまと広域環境衛生事務組合議会議員



一般質問

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。



山口耕司議員

Q: ごみの収集、地域集積場所の改善について

A: 今後格差を是正し、集積場所の増加や自治会からの要望にできる限り答えてまいりたい。

台風21号及び22号による災害について

(道路・河川災害の現況と復旧に向けての取組について)

委員会での質疑後、見直しとなったが、道路・河川の災害の現況と復旧に向けての取組について伺う。

都市整備部長

道路関連が150件・河川関連が23件、その他3件で、被害額は概算で10億3,900万円、1月下旬までに国の査定となっている。

山口

県管理の1級河川において計画最高水位でコンクリート構造物を構築しているが、この水位を超過し被害が多く出ている。見直しが必要ではないか。

技監

水位の見直しを行い、堆積土砂の撤去・構造物のかさ上げ・水位の監視体制の強化等を行う予定と聞いている。

(農地・山林災害の現況と復旧に向けての取組について)

産業環境部長 農地は79件、農業用施設・山林は65件、

被害額は概算で11億300万円である。

山口

農地が激甚災害の指定を受けることとなったが、今後の取組について伺う。

市長

公明党の方々に配慮いただきお礼を申し上げる。国・県の協力を得て、補助率増高申請等を行い、農家負担の軽減に向け鋭意取り組んでいる。

ごみの収集について

(クリーンな街づくりの取組について)

山口

現みどり園では、午前11時30分から午後1時まで持込ができない理由と、今後出屋敷町に市の中継所が建設されたときの対応について尋ねる。

産業環境部長

資源ごみの分別や搬出を行う車両等が往来し、危険性が高まったため持込を停止している。今後新施設での受入時間帯は市民に不便を掛けないよう前向きに検討する。

山口

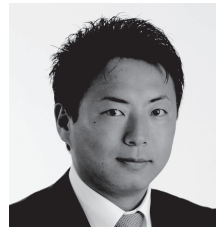
産業環境部長 地域格差があり、歩道を塞いでいること、鳥獣被害で衛生上問題があると認識している。

今後格差を是正し、集積場所の増加や自治会からの要望に検討し、できる限り答えてまいりたい。

その他の一般質問

1. 使用教科書に係る音声教材について
 - ①本市における需要調査結果について
 - ②本市での取組について
2. 改正障害者総合支援法について
 - ①高齢障がい者が介護保険に移行した場合の利用者負担について
 - ②市民への周知について
3. 地域公共交通について
 - ①市民のニーズに応えた施策について
 - ②介護保険の送迎サービスを「地域の足」に活用できる施策について





台風21号の災害について

養田 市民の皆様の生活に直結している市道の災害復旧について早急に進める必要があると思うが、長期復旧が必要な箇所は何箇所あるか伺う。

都市整備部長 北曾木線・湯川大淀線・北浦線・車谷湯谷市塚線の4路線で災害規模が大きく、1月中旬より災害査定が入る。北曾木線が一番大きな災害になっている。

養田 北曾木線の迂回路は山間部でカーブも多く舗装が悪く険しい道であり、市道が復旧するまで整備が必要と考える。一日も早い4路線の復旧が必要で、早急に対応願う。

都市整備部長 国の災害査定にかけるため、申請に鋭意取り組んでまいる。

養田 大雨の中、高齢の方や交通弱者が早期避難した際に座布団や毛布の提供がなかったと聞いたが、避難

所に避難された市民の方に對しどのように対応しているのか。避難準備・避難勧告・避難指示等避難にも段階があるのは承知しているが、避難場所では親身な対応が必要と考える。

危機管理監 基本的には避難者自身で用意していただくのがルールだが、施設間にも差があると考える。今後は職員の対応マニュアル等を作成し研修してまいる。

養田 上野公園や阪合部ミニグラウンドは洪水時には遊水池になっているのか。また上野公園は開設から何度災害に遭っているか伺う。

都市整備部長 国土交通省から遊水池であれば、築堤工事はしないとの話であり、遊水池ではないとの認識である。上野公園の浸水被害は開設してから5回である。
養田 五條市内で上野公園周辺ほど水害の多い場所はないと考える。今回も車の水没が2件発生し、地元消

防団に救助していただいた。また開設後5回の災害がある中、まずは災害が起きる箇所から対策工事を国へ要望し早急に対応するべきと考える。

市長 国への要望活動は毎年行っているが、国の考え方は上流からしていくのが基本原則でできないと言われている。

3年前の堆積土砂を撤去する工事やダムの水量調整を行い、浸水しないと言われていたが、支線の川の水量が原因で今回の浸水となった。今後、要望活動を活発化していく。

当市におけるソフト事業について

養田 以前から何度となく提案している保育料の無償化について、大都市圏内では値上げをしている市町村もあるが、人口減少している地方都市では、人口増加を促すために保育料の軽減している市町村が多いよう

である。五條市でも取り入れてはどうか、また財源は年間いくら必要なのか伺う。
あんしん福祉部長 五條市で保育料を完全無償化すると、公立・私立・委託・延長保育を含めて1億2,600万円程度必要となる。

養田 国は消費税の増税と共に幼児教育の無償化をする傾向にあると考える。人口増加を考えると国が行う前に、独自に無償化する必要があると強く思う。守口市や相生市の動向を参考に無償化を再度考えていただきたい。



その他の一般質問
介護タクシーについて